

成逸まちづくり推進委員会ニュース

成逸自主防災会主催「成逸総合防災訓練」を、10月19日(日)の夜に実施しました。訓練には各町内会から315名の方にご参加頂きました。

今年の成逸総合防災訓練は、夜に地震が発生したとの想定で、夜間訓練ならびに体育館で模擬避難所体験訓練として実施しました。10月19日(日)午後6時40分に京都市に大地震が発生、多数の家屋が倒壊し、学区内の数箇所で火災が発生しているとの想定で防災訓練を実施しました。各町内会から避難される方が町内防災標識を先頭に北総合支援学校グラウンドに集合、投光機が照らす灯りの下で避難状況の確認を行い、その後、体育館へ移動し、避難所スペースの体験や応急処置等の方法を学習しました。また、実際に体育館の照明を落として暗闇の状態を体験しました。

夜間の防災訓練はほとんど事例のない取組でしたが、大勢の学区民の協力を得て、無事、一定の効果、評価を得て訓練が終了しました。参加者の感想、意見等については次ページに整理しています。

今回の訓練の実績を踏まえ、今後も実際の状況に可能な限り即した形式で防災訓練を実施しますので、どうぞ多くの方にご参加頂き、いざという時のための備えにして頂きたいと思っております。

夜間防災訓練の様子



町内ごとに避難所受付で避難状況報告



町内ごとにグラウンドに整列



体育館で町内ごとに避難所スペースを体験



体育館の電気を消して暗闇状態を体験

「成逸総合防災訓練『夜間訓練』」の参加者を対象に「夜間訓練に関するアンケート調査」を実施しましたところ、148名の方から回答を頂きました。その結果概要を報告します。

選択項目に対する意見の集約

問1 非常用持出袋を用意していますか。

設問	回答数	比率
用意している	58	39.2%
用意していない	86	58.1%
未記入	4	2.7%
計	148	

用意している家庭は6割です。

問2 家庭で緊急のことを話し合ったことがあるか。

設問	回答数	比率
話しあったことがある	88	59.5%
話しあったことがない	55	37.2%
未記入	5	3.4%
計	148	

話しあったことのある家庭は6割です。

問3 家族で緊急時の場合の連絡方法を決めているか。

設問	回答数	比率
決めている	67	45.3%
決めていない	75	50.7%
未記入	6	2.7%
計	148	

緊急時連絡方法はほぼ半数で決めている。

問4 住宅の耐震性能に関する意識について。

設問	回答数	比率
耐震性能はある	41	27.7%
耐震性能に不安	59	39.9%
耐震性能のことはわからない	46	31.1%
未記入	2	1.4%
計	148	

7割の方が耐震性能に不安か、不明の方です。

問5 家具の転倒防止に配慮していますか。

設問	回答数	比率	回答者の年代別					
			40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	不明
配慮している	64	43.2%	12	12	16	21	3	-
配慮したことがない	79	53.4%	12	17	23	18	5	4
未記入	5	3.4%		2	2	1		
計	148		24	31	41	40	8	4

全体では家具転倒防止への配慮はほぼ半々です。年代別では70歳代だけ配慮が多くなっていますが、これは自主防災会で3年前から取り組んでいる高齢者家庭への家具転倒防止器具設置の効果とと思われます。

夜間防災訓練を体験しての意見・感想の概要

多くの回答者の方から数多い、幅広いご意見を記入して頂きましたが、主な意見を整理します。

避難所までの避難について	<ul style="list-style-type: none"> 避難所まで沿道の状況などを考えると本当にたどりつけるか不安だ。 高齢者の方をサポートして避難所にたどりつけるか不安だ。 一回体験しておくことがよい。日頃から訓練により体で覚えることが大切。 町内の住民の連携を密にしないと円滑な困難ができないと感じた。
体育館での避難所生活の体験について	<ul style="list-style-type: none"> 体育館だけでは無理、狭いと感じた。(67人の方の意見) トイレのことや、プライバシーがないことなど、厳しさを体感した。 体育館に座っているだけで足腰にこたえた。座布団が有効と感じた。
夜間訓練について	<ul style="list-style-type: none"> 夜間訓練はとても効果があってよかった。継続してほしい。 真っ暗中の灯りの大切さがひしひしと伝わってきました。 高齢者には夜間は足元が悪く、大変です。
学区の防災への取組について	<ul style="list-style-type: none"> 今後もこのような訓練を重ねることで学区の皆さんの交流になる。 内容的にはもっと踏み込んだ、次回も参加したくなる取組を期待する。 大地震に遭遇し、避難所生活の体験者の話が聞きたい。

成逸自主防災会では今回の訓練の成果についての分析を行い、さらに効果的な防災訓練の計画と実施を企画してまいりますので、今後とも、多くの方の参加と協力をお願いします。

また、住民による「避難所運営マニュアル」の策定に向けて、経験者や専門家、立命館大学産業社会学部石本ゼミのアドバイスを受けながら取り組んでいますので、その概要をニュース等でお知らせします。

発行 成逸まちづくり推進委員会 成逸自主防災会
協力 立命館大学産業社会学部石本ゼミ 成逸班